

第20回厚生文教常任委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和5年2月22日（水曜）		13時30分 開会	
	休 憩 13:41-13:43、14:26-14:27、14:27-14:40			
			14時55分 閉会	
	休憩時間：0時間16分		会議時間：1時間09分	
会議場所	3階委員会室			
出席委員 氏 名	委員長	渡辺洋一郎	委員	柴田 正博
	副委員長	橋本 和仁	委員	正村紀美子
	委員	常通 直人	委員	堀切 忠
	委員	西尾 一則		議長 早苗 豊
説 明 員	健康福祉課長	大野 邦彦	総務係長	佐藤 文彦
	保健推進係長	吉川 泰子	医事係長	多田 敬介
	保健推進係主査	竹内 名恵	経営企画係長	杉本 康次
	公立病院事務長	西科 純	経営企画係主査	吉田かおり
	公立病院参事	江崎 健一		
参 考 人				
欠 席 委 員 氏 名				
事務局職員	総務係長	佐藤 史彦	総務係主査	上田瑞紀
『会議に付した事件と会議結果など』				
1 開 会 委員長が開会を告げ、事務局から本日の委員会の日程を説明する。				
2 議 件 (1) 調査事項 ア 新型コロナウイルスワクチンの接種状況等について 資料1				
<ul style="list-style-type: none"> ・健康福祉課長：担当から説明する。 ・保健推進係長：資料説明＜前回委員会説明以降の接種体制、接種状況等（2月20日現在）について説明。 ・委員長：質疑はないか？ ・柴田委員：若年層も感染後の後遺症が様々あると聞いている。ワクチン接種と感染した場合の後遺症の相関関係などの見解は？ ・健康福祉課長：発生から3年が経過し、ウイルスも変化している。国のデータでもワクチンは重症化を抑えるという評価がされており、令和5年度以降も接種したい方に対応できるよう進めたい。後遺症への効果は判然としない。 ・常通委員：予約の混雑状況は？ ・健康福祉課長：オミクロン株も含めて12月がピークとなった。接種件数なども減 				

少傾向にある。

- ・橋本委員：接種率は全国と比較してどうか？
- ・健康福祉課長：今週以降60%を超える見込み。全国、全道では40%程度。希望者が接種できるよう進めていく。
- ・委員長：他に質疑はないか？
- ・(質疑なし)
- ・委員長：以上で調査事項「ア」を終了する。

イ 公立芽室病院経営強化プラン（案）について 資料2

- ・病院参事：本日開催される運営委員会の答申をもって決定し、パブリックコメントなどを経て成案とする。前回の委員会調査で示した内容からの変更点（朱書き）について説明する。
- ・委員長：質疑はないか？
- ・正村委員：収支計画について、右肩上がりを想定する根拠は？
- ・病院参事：診療報酬の増加などを見込んでいるもの。
- ・正村委員：経営形態の方向性も示されることになっている。施設の老朽化の対応とも関連すると考える。計画からどう読み取るか？
- ・病院参事：10ページに施設・設備の最適化を記載。慎重に検討を進める。
- ・正村委員：具体的な計画策定は来年度から取り組むのか？
- ・病院参事：現時点では、来年から具体的な計画を立てるなどの言及はできない。
- ・正村委員：院内保育は？
- ・病院参事：病院会館を利用して1日平均3～5人の利用がある。病院スタッフ確保のためにも継続は必要と考えている。
- ・橋本委員：経営形態の見直しでは全部適用としている。事業管理者はどういう方になるのか？
- ・病院参事：理事者による人事となる。
- ・正村委員：医療DXとは何か？
- ・病院参事：厚労省からは電子カルテのネットワーク化などが示されている。セキュリティなど課題は多い。
- ・委員長：他にないか？
- ・(質疑なし)
- ・委員長：調査事項「イ」を終了する。

ウ 公立芽室病院の経営状況（令和4年度第3四半期）について 資料3

- ・事務長：担当<総務係長（P1～2）及び医事係長（P3～5）>から説明する。
- ・総務係長：「第3四半期決算状況」「新型コロナウイルス感染症に係る補助金」概要の説明
- ・医事係長：「診療科別前年対比、月別状況（入院・外来）」説明。外来はコロナ前の状況に戻りつつある。単価はコロナワクチンの点数が大幅に減少したことの影響を受けている。

- ・委員長：質疑はないか？
- ・正村委員：コロナ病床の補助金廃止と言われているが、重点医療機関としての役割は今後どうなるか？
- ・事務長：国の考えとしては全て廃止の方向で、3月に示されると聞いているが、現時点で言及できない。
- ・正村委員：電気料の高騰の影響は？
- ・事務長：前年比800～900万円程度の上昇を見込んでいる。病院の規模等にもよるが、どこも困っている。支障のない範囲で消灯など節電に努めているが、効果がどの程度になるかは見込めない。
- ・柴田委員：病院のLED化は進んでいるか？
- ・事務長：補正により1階の改修を進めている。ロビーや外来の待合などのLED化を進めている。病院の経営状況、財源、補助制度も踏まえて、他の場所についても今後の検討となる。
- ・常通委員：コロナ病床の今後の見通しは？
- ・事務長：コロナのための病床とはならない可能性もあるが、医療機関としてコロナの入院患者の対応は必要と考える。一般病棟としての再開を念頭に地域包括ケアも考慮しながら進める。
- ・正村委員：患者が戻ってきた要因をどう分析しているか？
- ・事務長：入院の稼働率上昇、医師の増加、看護師の努力など職員一丸となった創意工夫の効果。課題がなくなったわけではなく、3年間で増えたものについても、今後の改革がなければ吐き出してしまう可能性が高い。
- ・委員長：他にないか？
- ・(質疑なし)
- ・委員長：以上で調査事項「ウ」を終了する。

エ 令和4年度厚生文教常任委員会の抽出事業について 資料4

- ・委員長：当日資料4-1に委員会総括をまとめた。質疑・意見はないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・常通委員：内容について異議はない。文言整理などは正副に一任したい。
- ・委員長：内容、進め方に異議ないか？
- ・(異議なし)
- ・委員長：決定とする。
- ・委員長：当日資料4-2について質疑・意見はないか？
- ・正村委員：進捗状況が空欄であるが、先進地調査など実施内容を記載してはどうか？
- ・常通委員：成果として方向性は見えてきた。概ね達成、完了と評価し、今後は抽出事業としてではなく、随時の調査で確認していけばよい。
- ・委員長：ただ今の意見を踏まえて追記し、文言整理などは正副に一任いただき、決定としたい。
- ・(異議なし)

- ・委員長：決定とする。なお、総括報告書への記載については、総務経済常任委員会や事務局の調整を経て成案となることをご承知願いたい。

以上で調査事項「エ」を終了する。

- ・委員長：お諮りする。論点整理のための議員間討議を行う。調査事項「ア」について、自由討議はあるか？

- ・(なし)

- ・委員長：タイミングをとらえて調査していく。調査事項「ア」を終了する。

- ・委員長：調査事項「イ」について、自由討議はあるか？

- ・正村委員：コロナ後の補助金廃止や病床のあり方の変更、今後の大規模な改修など委員会としても調査を継続する必要がある。

- ・橋本委員：施設の改築・建替などの考え方も含めて調査継続が必要。

- ・委員長：引き続きタイミングをとらえて調査していく。調査事項「イ」を終了する。

3 その他

(1) 次回委員会の開催日程について

正副一任とする。

(2) その他

- ・委員長：各委員からないか？

- ・常通委員：全協において振り分けられたPTAとの意見交換内容の取扱いについて協議が必要。

- ・委員長：ミーティングにより内容等を整理し、次回委員会で決定したい。

- ・(異議なし)

- ・委員長：議長からないか？

- ・(なし)

- ・委員長：事務局からないか？

- ・(なし)

以上をもって、厚生文教常任委員会を終了する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	1名	議員	0名	合計	1名
------	-----	----	-------	----	----	----	----	----

令和5年2月22日

厚生文教常任委員会委員長 渡辺 洋一郎